

『ウイズ』すまいる

2023年 冬号

法人理念

安心

「安心」に満ち溢れた
生活と快適なサービスを
提供します。

信頼

人を敬い、人に優しい
「信頼」される施設を
目指します。

奉仕

「奉仕」の精神のもと、
真心こめて地域社会に
貢献します。

社会福祉法人 厚慈会

- 特別養護老人ホーム
- ショートステイ
- デイサービス
- グループホーム

国見の里
杜・丘

地域と共に…

「国見の里」開設 10 年目を迎えます！



新年の挨拶



社会福祉法人厚慈会
理事長 堀切 伸一

今年の干支は「癸（みずのと）・卯（う）」です。新しい時代への序章…
未来の種が膨らむことを意味します。 今年は感染防止対策を継続しつ
つ、「ウイズコロナ」の観点に立ち、制限を少しずつ見直しながら日常生
活を取り戻すことに努めます。 お花見やお祭りなど利用者さまが楽しみ
にしている各種行事の再開を熟慮します。

「国見の里」のオープンから 10 年の月日が経ちました。 私たちの施
設にゴールはありません。 これからも介護事業の永遠のテー
マである「より質の高いサービスを提供する」という基本命題
を忘れず追及いたします。 そして何よりも「人間の尊厳」を
大切にする施設をつくりますので、今後とも皆さまのご教示を
賜わりますようお願い申し上げます。



2023



あけましておめでとうございます。
今年もよろしくお願いします。



国見の丘



国見の丘



国見の杜



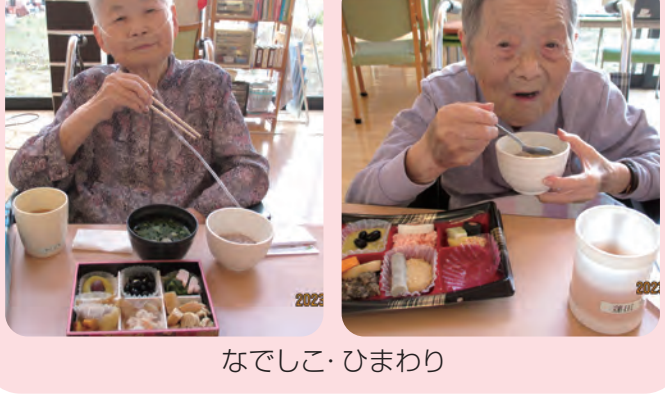
デイサービス



デイサービス



りんご



なでしこ・ひまわり



すみれ・たんぽぽ



国見の丘



特養「国見の里」 りんごユニット（普段の様子）

これからも
日常に寄り添いながら・・・

『食事』を通して日常を支える・・・ 「地域ケア会議」に参加して～

国見町では、令和元年度より多職種の専門的な助言のもと、要支援者等の生活課題の解決や状態の改善に向けて検討する「自立支援型地域ケア会議」の取組みをスタートしました。

令和４年度からは、対象者の範囲を拡大し、要支援者および要介護１・２認定者として高齢者の自立支援・重度化防止の取組みを推進するための「地域ケア会議」となり、コロナ禍ではありますが、ほぼ毎月開催しております。

「地域ケア会議」は、

- (1) 国見町から委託されたそれぞれの専門職のアドバイザー（薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などの資格を有する者）
 - (2) 事例提出者（ケアプラン等作成者及び介護サービス事業者）
 - (3) 国見町地域包括支援センター職員
 - (4) 国見町職員
- によって構成されております。

会議では、サービス提供者から２事例の検討事例があり、住み慣れた家で過ごしたいと希望されるケースが多く、本人の望む暮らしを継続するために、日常生

活の中で、自分でできることをどうしたら引き出せるかを想像しながら参加しております。

『食』については、食べるバランスや食べ方、栄養素の組み合わせなど専門用語ではなく、少しでも具体的に分かりやすくアドバイスできるよう心掛けております。

会議終了後、支援の必要な方への同行訪問があり、会議でのアドバイスがどれくらい役立てられているのか、不安に感じていたことが解決され、会議の場で見えなかった生活の場や支援の必要性が明確となり、とても勉強になっております。

「今後も住み慣れた家で過ごしたい」という「想い」に寄り添い、『食』を通してアドバイスをしていきたいと考えております。

家族様の負担の軽減のお手伝い、独居の方の心のケア、安否の確認、医療面の支援、バランスの摂れた生活が施設ではできるので、施設の良さも伝えていきたいと思っております。

管理栄養士
矢吹 美和子



令和4年度 キラリふくしま「介護賞」5名受賞!!

今回受賞した5名の職員に、インタビューしました。



国見の里
永井 貴大さん

介護の仕事は「大変」というイメージが多いかもしれませんが、「ありがとう」と感謝の言葉をいただくこともあり、私はその言葉に元気をもらっています。介護の仕事はやりがいのある仕事です。



デイサービス
佐藤 弘子さん

介護の仕事は大変なこともあります。人を思いやり、心を通わせることのできるとてもやりがいのある仕事です。日々笑顔で仕事ができることは、とても幸せなことだと思っています。



国見の里
稲月 厚子さん

子供も成長し第二の人生の職業として介護の道を選びました。年齢もかなり過ぎてからの未知の世界でしたので不安もありましたが、世代を超えて出来るお仕事と知り、良かったと思います。



ショートステイ
渡邊美樹子さん

私が介護に興味を持ったのは、親が大病で手術を受けた後に術後せん妄を目の当たりにした事がきっかけでした。介護について色々調べうちに介護の『専門性』の高さに驚き、気が付いたら介護職へと進み現在に至ります。介護を通し様々な方々との関わりは、常に刺激となっております。



国見の杜
幕田 香純さん

子供の頃、祖母が曾祖母の介護をしている姿を見て自分も何か出来ないかと思い将来介護が必要になる祖父母の力になれるよう介護を選びました。実際に祖母を介護する際「頼める人がいて嬉しい」と言われ、とても嬉しく、介護の道に進んで良かったと感じました。

編集後記



統括施設長
齋藤 茂樹

「明るい笑顔」と「元気な挨拶」で始まるのが職場の朝です。「いつも五つを忘れません」は私達全員の職場行動指針としています。笑顔で始めると、不思議と何事もうまくいくものです。微笑まれた相手も自分も心豊かな心地になります。そして「元気な挨拶」は「あなたは大切な人」と伝える最良の手段なのです。私達は互いに「おかげさま」で生きているのだからそこには自然と「感謝の気持ち」が生まれてくるはず。『誠心誠意』で仕事をしていればその仕事は必ず認められるでしょう。「周りを思いやる心」は人生の最高の徳目とされる『仁』に通ずるものなのです。

社会福祉法人 厚慈会

【発行責任者】

統括施設長 齋藤 茂樹

【住所】

〒969-1788
伊達郡国見町小坂南3番地

【TEL】024-585-5161

【FAX】024-585-1588

【ホームページアドレス】

kunimi-sato.or.jp



ホームページは
こちらから